

## 結果の概要

平成 18 年工業統計調査結果(従業者 4 人以上集計分)は、次のとおりである。

事業所数	449 事業所	(前年比 12.1%減)
従業者数	9,853 人	(前年比 9.8%減)
製造品出荷額等	18,086,442 万円	(前年比 5.5%減)

### 1 概況

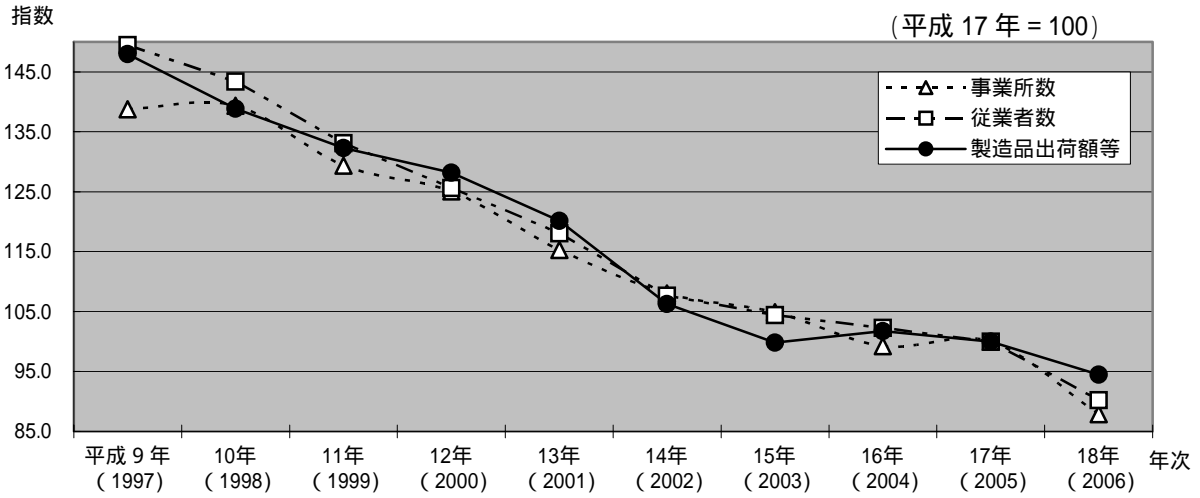
平成 18 年の経済概況は、全国的には企業収益が大幅に改善し、雇用環境が持ち直す動きが見られるが、北海道全体は、一部に変化の動きがあるものの依然として先行き不透明な状況である。市内の経済状況は、雇用不安、公共事業削減、消費者の買い控えなど企業業績を取り巻く環境は依然として厳しいものがある。一方で旭山動物園効果による観光客数は著しく増加しており、地域産業への波及拡大など経済活性化への起爆剤としての期待が高まっている。

このような中で製造業を取り巻く状況は昨年と同様、生産活動は低調に推移し、企業の景況感も厳しい見方が続いている。本市の工業活動を工業統計調査の結果(4人以上集計分)からみると、事業所数は 449 件で前年比 12.1%の減、従業者数は 9,853 人で同 9.8%の減、製造品出荷額等は同 5.5%減の 1,808 億 6,442 万円の出荷額となり、落ち込みが続いている。

表1 旭川市工業の推移

年次	事業所数	単位:事業所,人,金額 万円				
		指数 17 年 =100	従業者数	指数 17 年 =100	製造品出荷額等	指数 17 年 =100
平成 9 年(1997)	709	138.7	16 324	149.5	28 320 592	148.0
10 年(1998)	712	139.3	15 662	143.4	26 574 295	138.8
11 年(1999)	661	129.4	14 535	133.1	25 320 186	132.3
12 年(2000)	639	125.0	13 720	125.6	24 536 355	128.2
13 年(2001)	589	115.3	12 891	118.0	22 997 044	120.2
14 年(2002)	552	108.0	11 755	107.6	20 343 842	106.3
15 年(2003)	536	104.9	11 400	104.4	19 104 204	99.8
16 年(2004)	507	99.2	11 169	102.3	19 478 312	101.8
17 年(2005)	511	100.0	10 921	100.0	19 139 680	100.0
18 年(2006)	449	87.9	9 853	90.2	18 086 442	94.5

図1 旭川市工業の推移



《 参 考 》

平成18年12月31日現在における道内主要都市の工業概況は次のとおりである。

(資料:平成18年工業統計調査結果)

単位:事業所,人,万円

都市名	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
札幌市	1,167	29,291	50,975,537
<b>旭川市</b>	<b>449</b>	<b>9,853</b>	<b>18,086,442</b>
函館市	380	9,348	18,058,488
小樽市	306	8,063	15,493,668
苫小牧市	240	10,575	92,186,556
釧路市	231	5,951	25,599,467
北見市	165	3,922	14,811,183
室蘭市	155	7,438	92,457,257
帯広市	151	5,108	10,208,117
石狩市	144	4,243	10,958,255
稚内市	95	1,884	4,846,223
根室市	94	2,351	6,077,031
千歳市	94	6,229	21,368,693
紋別市	89	1,904	4,179,876
恵庭市	88	4,973	14,690,414
江別市	88	3,624	9,568,639
北広島市	79	2,624	7,290,713
(参考)			
全道計	6,813	182,681	574,959,206
市部計	4,773	136,384	454,609,220
郡部計	2,040	46,297	120,349,986